

札幌微生物勉強会のご案内申し上げます。

本年も下記要領におきまして、札幌微生物勉強会を開催いたします。

本年は演者として、産総研の山本京祐先生と中井亮佑先生の2名の研究者にご講演して頂きます。

勉強会は、微生物研究者に限らず、興味のある方はどなたでも歓迎いたします。

年齢制限もございません。

登録不要、参加費無料となっておりますので、時節柄お忙しい時期とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加いただけますようよろしくお願いいたします。

最後に、お手数おかけしますが、広くお近くの研究者に御周知いただけますようご協力をお願いいたします。

なお、お問い合わせ等がございましたら白石 (shiraishi1020@[sapmed.ac.jp](mailto:shiraishi1020@sapmed.ac.jp)) までお気軽にご連絡下さい。

第 14 回 札幌微生物勉強会 概要

■日時：9/6 (金) 15 時～

■場所：北海道大学 食資源研究棟 3 階 F319 (右)
農学部裏の圃場の一角にある建物です。

https://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/campusmap/151105sapporo_map.pdf

■講演者・タイトル・要旨

山本 京祐 先生 (産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門)

「種間相互作用が駆動する細菌の適応進化動態 – 実験室進化アプローチによる解析 –」

微生物は自然環境中において多種多様な種が共存し微生物群集を形成していることが一般的であり、群集を構成するメンバーは互いの生育や生理に影響を及ぼし合っている。一方で、こうした種間相互作用は関わりあう種の進化過程においても選択圧として深く関与することから、微生物の進化動態を理解する上でも種間相互作用のような生態現象の理解が重要である。微生物の様々な進化現象の中でも、病原菌の薬剤耐性獲得などは医学上の大きな問題となっているが、共存する異種微生物との相互作用がこうした進化現象の動態にどのように関わっているかは未知の部分が多い。これに対する研究アプローチとして、発表者は微生物実験室進化 (実験室環境にモデル実験系を構築しある程度制御された条件下で微生物の進化過程を観察・解析する手法) の有用性に注目し研究を進めている。発表では微生物学・生態学分野における進化実験研究の現況を概観しつつ、当該手法を用いた発表者の最近の研究成果を紹介する予定である。

中井 亮佑 先生 (産業技術総合研究所 生物プロセス研究部門)

「稀少微生物たちの実態と新機能を探る」

私は極限フィールドに暮らす微生物に関心を持ち、未知微生物の探索研究を行ってきました。本講演では、これまでに可培養化した稀少な (レアな) 微生物たちの実態や生理・生態特性と、超微小バクテリアの研究から見出した微生物の“しなやかな”生存戦略を紹介させていただきたい。時間が許す範囲で、新規微生物を豊富に含むユニークな生態系などにも触れたいと思います。

【参考】超微小微生物の実態と多様性：

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsmeja/32/2/32_43/_article/-char/ja/

■懇親会

セミナー終了後に懇親会を札幌駅近辺にて開催予定です。

参加者と交流できる絶好の機会ですので、みなさま奮ってご参加ください。

詳細および予約の受付については後日またご連絡差し上げます。
